



第2会場●2F 自由研修室

■司 会／和田富美子 佐賀県武雄市立北方幼稚園 園長
井上 成人 山口県生涯学習推進センター 社会教育主事

1 学校支援ボランティアを「環」とした学社連携事業の方法と論理 10:45～11:10

ー学校と公民館と地域住民と子どもを繋いだ生涯学習の地域還元事業ー

原 敦代（島根県） 大社町荒木コミュニティセンター チーフマネージャー

公民館と学校の連携が実を結んで、公民館主催講座の受講生の学習成果の地域還元活動が学校支援ボランティアの形で実現した。活動は学校と公民館と受講生と子どもの4者で構成するが、公民館が中心となって、コーディネート機能を担当し、学校支援はもとより、学習の成果を還元する舞台を子どもにも、講座生にも整えることに成功した。結果的に地域住民の地域のための貢献の意識も実践も向上し、子どもの地域活動への参加も育てることに成功している。

2 学校、地域、社会教育行政の協働による地域教育力向上施策の実践 11:10～11:35

ー学社融合理念に基づく少年教育の総合化システムの構築ー

井関 嘉昭（長崎県） 琴海長浦町学社融合推進委員会 学社融合係長

平成12年度以来、地域教育資源の総合的活用を図るため、企画を担当する「推進委員会」と実践を担当する「校区内実施委員会」を小学校4校、中学校1校に設置して学社融合の具体化に挑戦している。推進委員会では体験活動、調べ学習のワークショップなどを企画し、校区内実施委員会が学校区ごとに運営している。財源は青少年育成協議会予算および社会教育総務費をあてている。学社融合の認識が深まり、異なった機関間の協働も機能し始めている。

3 子ども会指導体制の充実・増強とジュニアリーダー養成事業の組織化 11:35～12:00

ー福岡県糸島地区「子ども会指導者の会」の活動展開ー

泊 武人（福岡県） 福岡県糸島地区子ども会指導者の会 会長

「指導者の会」は福岡県プレイリーダー1級研修の修了者を中心に平成13年に発足。指導者の増強、子ども会指導の充実・発展を目的として技能向上のためのフォローアップ研修の実施、ジュニアリーダーの養成研修を組織化した。青少年アンビシャス運動や糸島地区ボランティア派遣事業に団体登録して、子ども会活動への指導者の派遣等を行っている。

4 総括討論

12:00～12:30